

犬塚研究室（大学院）グラウンドルール

当研究室では、「研究のプロ」を養成します。所属院生は、以下のルールを守ってください

1. 研究指導時間

2カ月に1度の頻度で、博士課程、修士課程、研究生、副指導学生、進学希望者等と交えた「大学院合同演習」を開催しています。この合同演習は、学生以外でも見学できます。見学希望者には開催日と場所をお教えしますので、犬塚まで連絡してください（現在はオンラインで、偶数月・最終金曜日の18:00~の開催です）。特に社会人学生は、受験前に必ず事前見学をして、求められるレベルを確認してください。入学に向けた相談があれば、終了後に承ります。

大学院生への指導時間は、年間を通して金曜の18:00~22:00を、原則として空けてあります（定例ゼミも同時間帯です）。研究相談や調査設計、論文修正等、まとまった時間が必要な場合は、この時間帯を予約してください。

2. 「1カ月前ルール」の意味

修士・博士論文や共著論文等、指導教員からの指導を要するものは、修正期間をひまえて、締め切りの1カ月前までに<完成>させてください。締め切り1カ月前までに暫定版を提出することはありません。締め切りの1カ月前に「論文を完成させる(執筆を終える)」ことです。締め切りぎりぎりになって原稿を出す人は、その締め切りが1カ月前だろうが、1カ月後だろうが、締め切りぎりぎりになってから仕事を始め、最後は未完成なものを世の中に出します。これでは研究のプロにはなれません。たとえ不慮の事態（病気、天災等）に遭ったとしても、締め切りまでに完成度の高い論文を出し続けられる人が本当のプロです。締め切りを1カ月前だと信じるだけでこの「癖」はつきます。私自身、ほとんどの発表原稿について、締め切りの数カ月前には完成させています。授業料免除願など、私の承認を要する書類も、締め切りの2週間前までに依頼してください。

3. 報告時間

報告の持ち時間は15分（超過時間は打ち切り）です。15分は国際会議での標準的な報告時間ですので、ポイントを絞ればどんな研究も15分内で報告できるはずですが、報告は研究室メンバー全員の人生の時間を奪う行為ですので、十分に準備してください（一度は発表練習をしてから望んでください。進捗がない人は、報告をパスしてください）。

報告者以外の方は、目上（教授）だろうが目下だろうが、他人の研究には遠慮なく批判・コメントをし、研究室というチームで良い研究ができるように心掛けてください。正しいか否かだけで判断されるのが学問の素晴らしいところです。研究に上下関係は不要です。